

美術科学習指導案

平成20年11月20日(木) 第5校時

2年1組30名(男子17名女子13名)

授業者 亀田 直美

1. 題材名 『文様探検』

2. 題材目標

(1) 様々な文様に触れ、興味・関心をもとうとする。 (美術への関心・意欲・態度)

(2) 文様の特徴を理解し、味わうことができる。 (鑑賞の能力)

3. 題材について

(1) 教材観

世界には、古くから様々な種類の文様が存在していた。文様はその時代や文化に反映し、直線や曲線、渦線や円などを用いた幾何学的なものから、植物や動物などの自然物をモチーフとしたものなど、数多く生み出されてきた。

日本でも古来より文様を道具類や衣服、建造物など様々なものに施し、生活に彩りを与えてきた。現在の生活においても同様であり、文様があることで我々の生活を潤している。

この題材は、文様の世界に触れることで、普段、何気なく見過ごしている身の回りにある文様について興味関心をもち、それが我々にどのような影響を与えてきたか、を考えさせるものである。また民族によっては、文様は意味合いのある大切な形であることに気付くため、アイヌ文様を取り上げ、表現方法の大切な手段であることを学ばせたい。

(2) 生徒の実態

美術の授業に真剣に取り組む生徒が多く、集中して制作する態度が見られる。生徒は、1学期に直線や曲線の組み合わせによる単位形を基にした平面構成を制作したが、線の組み合わせによりできる様々な形、またそれを連続したり回転することによって生み出される形のおもしろさに興味を示し真剣に取り組んでいた。そのため今回取り上げる文様の題材には、関心を示すことができると思われる。

また題材の中心としてアイヌ文様を取り上げることになっているが、英語科の授業で9月にアイヌに関する内容を学習しており、また2学期に入り総合的な学習の時間にも、アイヌの人々の生活について話を聞く機会もあったため、アイヌ文様への理解も深まるものと思われる。

また、今回の題材を通して、今まであまり意識をして見ることがなかった文様に興味をもたせ、生活に生かしていくようにさせたい。

4. 人権教育との関連

「文様探検」の学習を通して、様々な文様の特徴の違いを見いだす中で、互いに助け合い、励まし合って協力できる力を身につけさせたい。また、一人一人の物の見方、感じ方を大切にし生徒同士が認め合える態度を養いたい。 (判断力)

5. 指導計画と評価計画（2時間扱い）

| 時 | 学習内容 | 目標 | 評価の観点 | | | | 評価基準 |
|---------|---------------|---------------------------------|-------|---|---|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | 関 | 発 | 創 | 鑑 | |
| 1 | 様々な文様について知る。 | 様々な文様があることを知り、その特徴に気づくことができる。 | ○ | | | ○ | A 様々な文様があることに興味をもち、その特徴に積極的に気づくことができる。 B 様々な文様があることを知り、その特徴に気づくことができる。 |
| 2 本時 | アイヌ文様について考える。 | ・アイヌ文様に興味関心をもち、文様の特徴を考えることができる。 | ○ | | | ○ | A アイヌ文様について興味関心をもち意欲的に鑑賞に取り組むことができる。また文様の理解を深め特徴について説明することができる。 B アイヌ文様について興味関心をもち文様の特徴を理解することができる。 |

6. 研究テーマとの関連

本年度美術部会研究テーマは「生涯の生活に生きる美術教育の創造」である。本題材では、古くから様々なものに装飾が施こされてきた文様について学ぶものである。文様の種類は数多くあり、その特徴も様々である。また、文様によっては意味を持つものまである。文様を知り理解していくことは、いままで日常生活の中で、あまり意識されることがなかった文様の存在に目が向けられ、文様のすばらしさを味わうことができるものと思われる。

よって本題材「文様探検」は、授業の中だけで終わるものではなく、生涯の生活に渡り行われるものである。また今後は鑑賞だけにとどまらず、文様を自ら装飾していくことへと発展していく可能性もあるため、研究テーマに迫るものと考えられる。

7. 本時の指導

(1) 題目 「アイヌ文様を探検しよう」

(2) ねらい

- ・アイヌ文様について興味・関心をもちようとする。(美術への関心・意欲・態度)
- ・アイヌ文様の特徴を考えることができる。(鑑賞の能力)

(3) 人権教育の視点

アイヌ文様の特徴について、お互いの考えを尊重しながら、グループで協力して話

し合うことができる。

(判断力)

(4) 本時で生かしたい生徒

☆：美術に対して関心、意欲が高く、発想も豊かである。アイヌ文様の特徴について考える場面では、自分の考えを発表してもらい他の生徒が考えを深める手立てとなるようにしたい。

(5) 展開 (別紙)

(6) 評価

- ・アイヌ文様について興味・関心をもとうとしたか。(観察、発表、ワークシート)
- ・アイヌ文様の特徴を考えることができたか。(観察、発表、ワークシート)

| | 評価規準 | 実現させるための手立て |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 十分満足できる | <ul style="list-style-type: none">・意欲的に文様の特徴を見つけようとしている。・アイヌ文様について理解を深め、文様の特征について説明することができる。 | <ul style="list-style-type: none">・実際の文様やプリントなど特徴がわかりやすい資料を提示する。・文様の基本となる形に注目させ、それがどのような形、組み合わせになっているか考えさせる。 |
| おおむね満足できる状態 | <ul style="list-style-type: none">・文様の特征を見つけようとしている。・アイヌ文様の特征を理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none">・実際の文様やプリントなど特徴がわかりやすい資料を提示する。・文様の基本となる形に注目させる。 |